

**TOYO TIRES**

**2023年度第1四半期  
決算説明資料**

2023年5月11日

**TOYO TIRE 株式会社**

**1. 2023年度 第1四半期実績**

2. 2023年度 業績予想

3. トピックス

- 北米でのライトトラック用タイヤの販売伸長などにより、  
売上高は**第1四半期としては過去最高となる1,292億円**を計上
- 商品構成が変化したことで、  
営業利益は**146億円と前年同期を下回る**
- 純利益は、**109億円と投資有価証券売却益を計上した前年同期に比べて減少**
- 業績予想の見直しを行わず、2023年度は、売上高 **5,400億円**  
営業利益 **500億円** を見込む

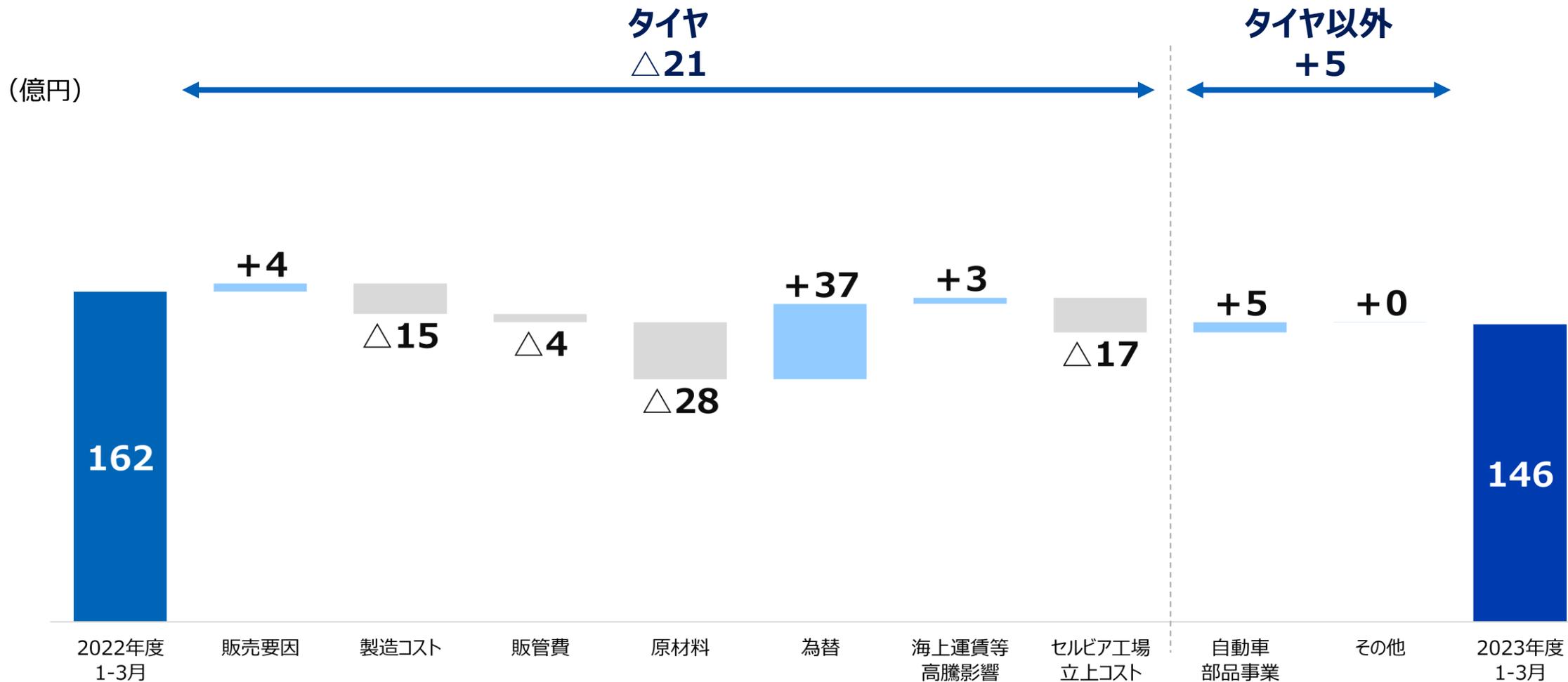
(百万円)	2023年度 1-3月実績	2022年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
売上高	129,160	101,773	+27,386	+26.9%
営業利益	14,574	16,172	△ 1,598	△9.9%
営業利益率	11.3%	15.9%	—	—
経常利益	15,801	20,529	△ 4,728	△23.0%
四半期純利益	10,883	17,797	△ 6,914	△38.8%

※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

米ドル	133円	115円	+18円
ユーロ	142円	129円	+13円

2023年度通期 為替感応度	
米ドル	7億円/年
ユーロ	1億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき



2021年度 10-12月実績	販売要因	製造コスト	販管費	原材料	為替	海上運賃等高騰影響	セルビア工場立上コスト	自動車部品事業	その他	2022年度 10-12月実績
134	+48	△5	+2	△59	+55	△30	△23	+3	+0	127

(百万円)

売上高	2023年度 1-3月実績	2022年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
タイヤ	117,955	91,600	+26,354	+28.8%
自動車部品	11,200	10,168	+1,031	+10.1%
その他	9	15	△6	△40.0%
調整額	△4	△11	+6	—
合計	129,160	101,773	+27,386	+26.9%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

営業利益	2023年度 1-3月実績	2022年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
タイヤ	14,613	16,671	△2,058	△12.3%
営業利益率	12.4%	18.2%	△5.8%	—
自動車部品	△38	△494	+455	—
営業利益率	△0.3%	△4.9%	—	—
その他	0	△2	+2	—
調整額	0	△1	+1	—
合計	14,574	16,172	△1,598	△9.9%

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

(百万円)

売上高	2023年度 1-3月実績	2022年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
日本	28,368	23,156	+5,212	+22.5%
北米	81,931	63,045	+18,885	+30.0%
その他	18,860	15,572	+3,288	+21.1%
消去または全社	—	—	—	—
合計	129,160	101,773	+27,386	+26.9%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

営業利益	2023年度 1-3月実績	2022年度 1-3月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
日本	8,651	6,945	+1,705	+24.6%
北米	4,866	5,339	△472	△8.9%
その他	1,329	1,700	△370	△21.8%
消去または全社	△273	2,187	△2,460	—
合計	14,574	16,172	△1,598	△9.9%

1. 2023年度 第1四半期実績

**2. 2023年度 業績予想**

3. トピックス

# 2023年度第2四半期累計 連結業績予想

2023年2月14日に公表した業績予想から変更なし

**TOYO TIRES**

(百万円)	2023年度 1-6月予想	2022年度 1-6月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率
売上高	259,000	223,667	+ 35,332	+15.8%
営業利益	18,000	25,972	△7,972	△30.7%
営業利益率	6.9%	11.6%	—	—
経常利益	13,000	38,509	△25,509	△66.2%
四半期純利益	8,600	31,030	△22,430	△72.3%
※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益				
1株あたり 中間配当金	20円	30円	△10円	—
米ドル	129円	122円	+7円	
ユーロ	139円	132円	+7円	

(百万円)	2023年度 1-12月予想	2022年度 1-12月実績	対前年度 増減額	対前年度 増減率	2023年度 7-12月予想	対前年度 増減額
売上高	540,000	497,213	+42,786	+8.6%	281,000	+7,453
営業利益	50,000	44,046	+5,953	+13.5%	32,000	+13,926
営業利益率	9.3%	8.9%	—	—	11.4%	—
経常利益	43,000	51,035	△8,035	△15.7%	30,000	+17,474
当期純利益	29,000	47,956	△18,956	△39.5%	20,400	+3,473

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

1株あたり 年間配当金	55円	80円	△25円	—
米ドル	127円	131円	△4円	
ユーロ	137円	137円	+0円	

### 中計'21 重要経営指標

連結営業利益率 **14%超**

配当性向 **30%以上**

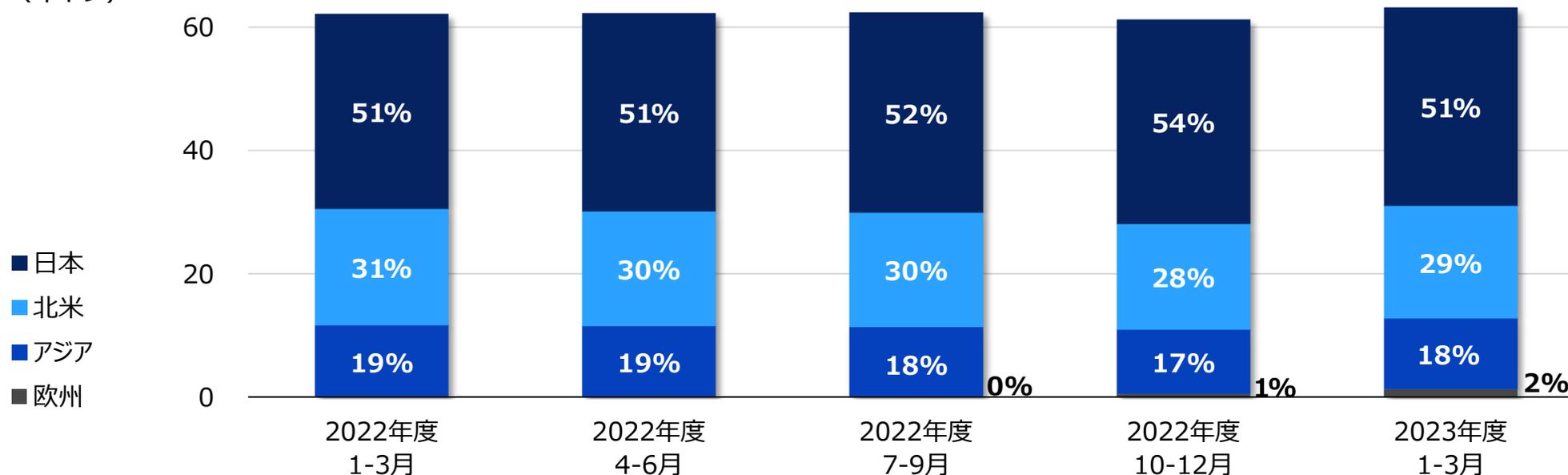
2023年度通期 為替感応度

米ドル	7億円/年
ユーロ	1億円/年

営業利益ベースで1円の変動につき 9/20

## 地域別生産量構成比

(千トン)

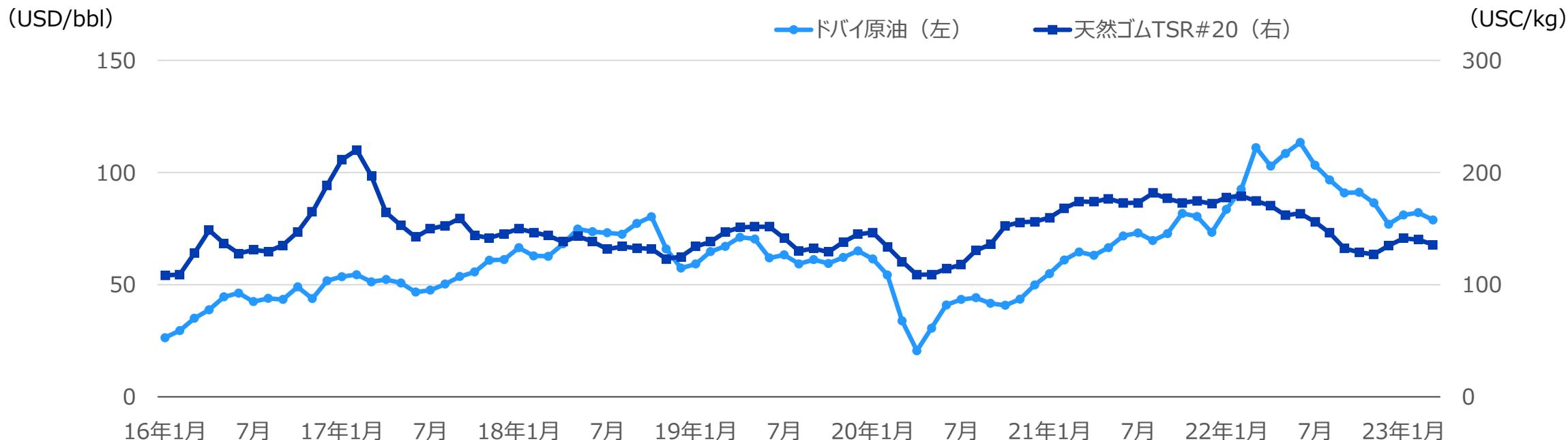


	2022年度					2023年度 1-3月実績	2023年度 1-6月予想	2023年度 1-12月予想	2023年度 1-12月 前回予想
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月				
日本	31.5	32.0	32.3	33.0	128.8	32.0	65.4	131.0	132.5
北米	19.0	18.6	18.6	17.2	73.4	18.3	36.6	76.1	76.6
アジア	11.7	11.6	11.3	10.5	45.0	11.5	22.7	45.6	45.9
欧州	—	—	0.1	0.5	0.6	1.3	3.5	10.2	14.5
<b>合計</b>	62.1	62.2	62.4	61.2	247.8	<b>63.1</b>	128.2	<b>263.0</b>	269.4
前年比率	101%	103%	102%	98%	101%	<b>102%</b>	103%	<b>106%</b>	109%

※前年同期間を100とした場合の前年比率

	2022年度					2023年度 1-3月実績	2023年度 1-12月予想	2023年度 1-12月 前回予想
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月			
国内外新車	87	95	144	108	106	<b>120</b>	<b>125</b>	128
国内市販	102	96	111	106	104	<b>104</b>	<b>98</b>	96
海外市販	95	97	105	100	99	<b>107</b>	<b>108</b>	108
北米	107	108	104	114	108	<b>110</b>	<b>113</b>	114
欧州	81	70	94	76	80	<b>103</b>	<b>96</b>	90
東南アジア	78	108	139	79	98	<b>106</b>	<b>103</b>	102
合計	95	97	111	103	101	<b>108</b>	<b>109</b>	108

## ドバイ原油・天然ゴムTSR#20価格推移 (SICOM)



## 価格変動影響額 (営業利益ベース)

(億円)

	2022年度				
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-12月
天然ゴム	△1	△2	+4	+7	+9
石化品	△39	△44	△50	△52	△185
その他原材料	△30	△26	△32	△15	△103
<b>合計</b>	<b>△70</b>	<b>△72</b>	<b>△78</b>	<b>△59</b>	<b>△279</b>

<b>2023年度 1-3月実績</b>
<b>+9</b>
<b>△30</b>
<b>△7</b>
<b>△28</b>

<b>2023年度 1-12月予想</b>
<b>+42</b>
<b>△122</b>
<b>△30</b>
<b>△111</b>

## 設備投資

**2023年度計画**

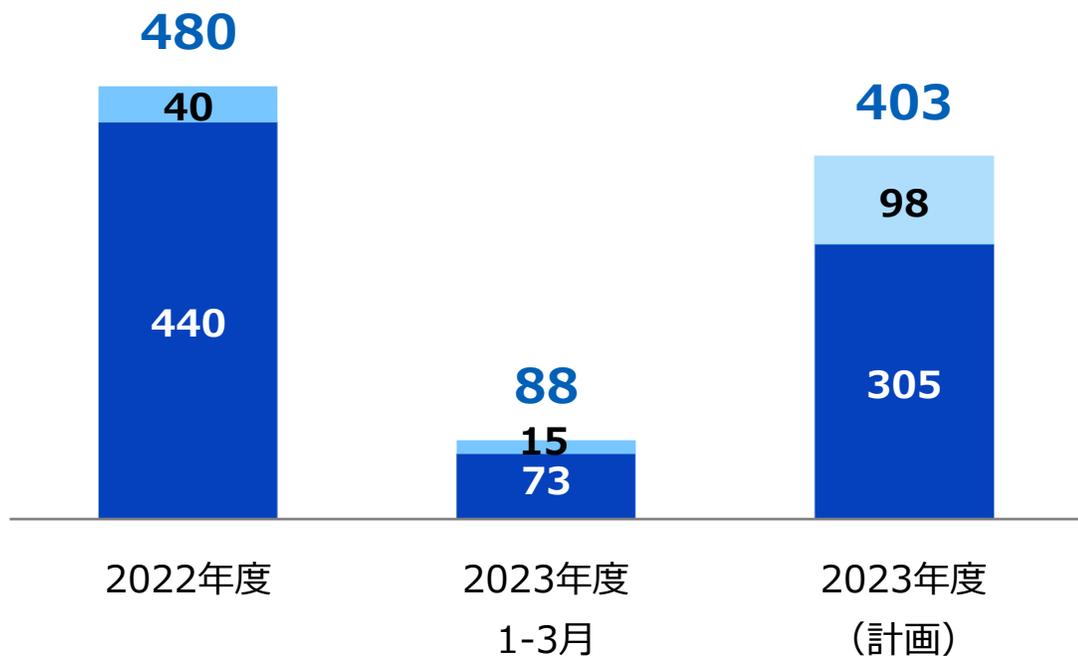
**設備投資額：403億円**

---

第1四半期時点実行率 = 21.8%

(億円)

■ タイヤ ■ 自動車部品他



## 減価償却費

**2023年度計画**

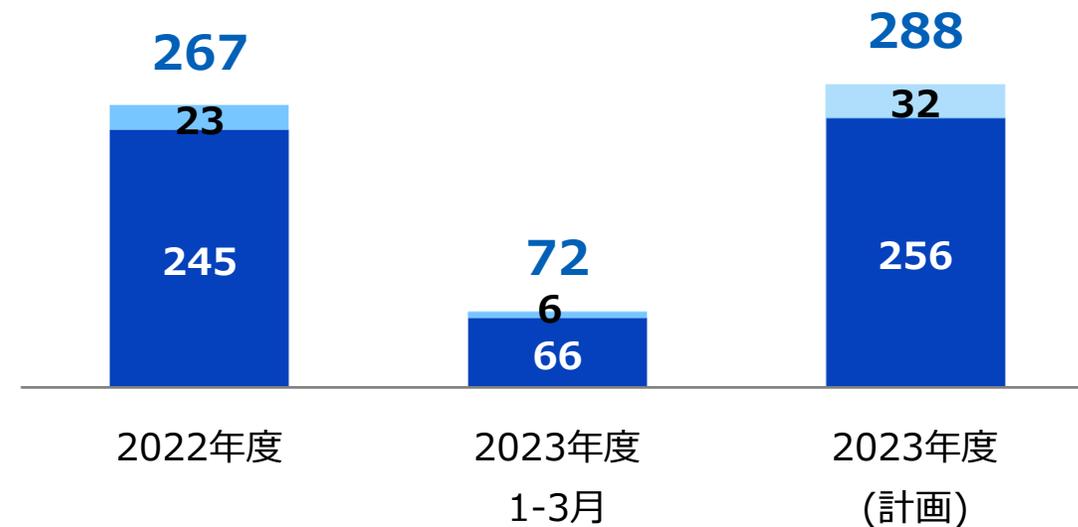
**減価償却費：288億円**

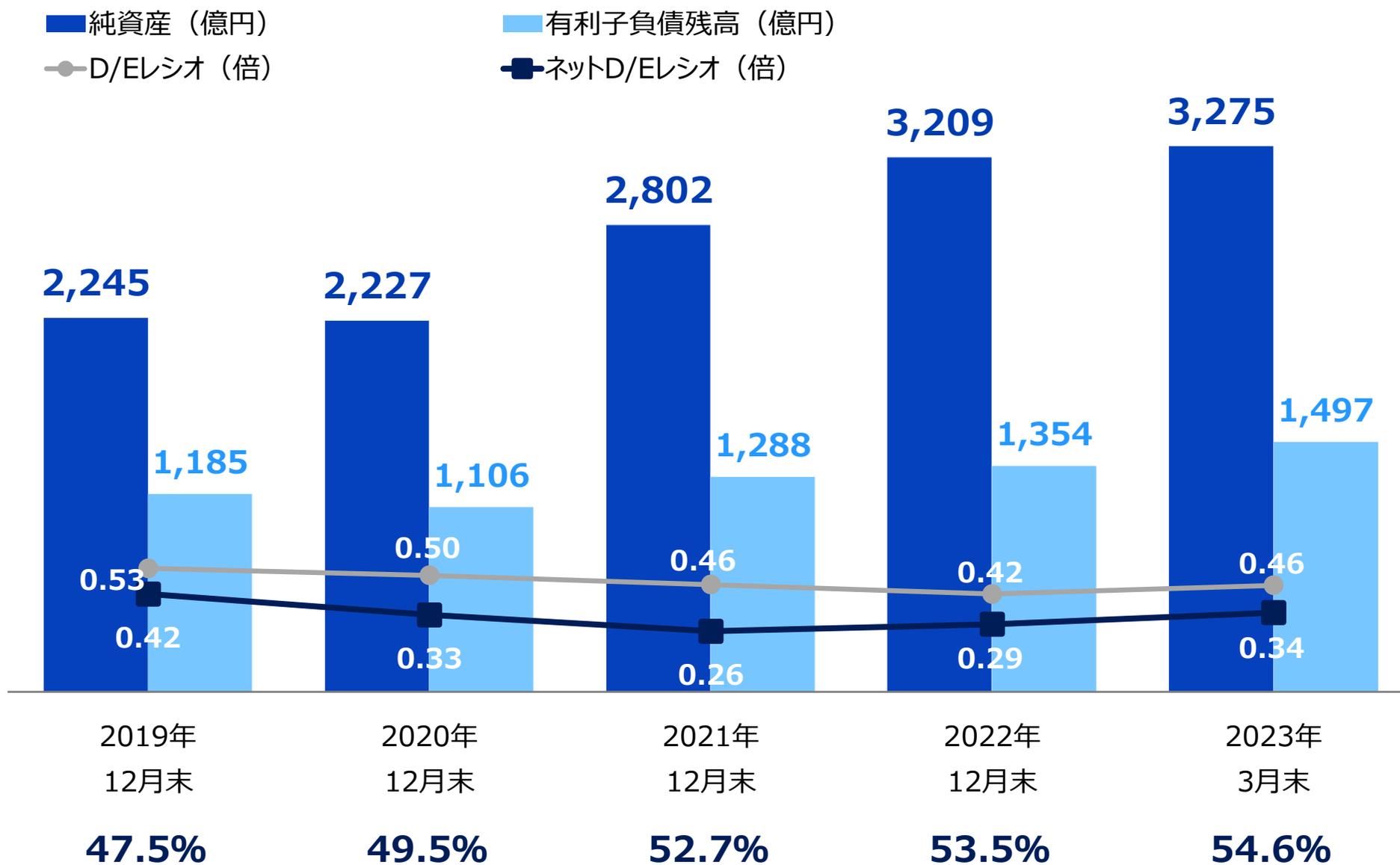
---

第1四半期時点計上率 = 25.0%

(億円)

■ タイヤ ■ 自動車部品他



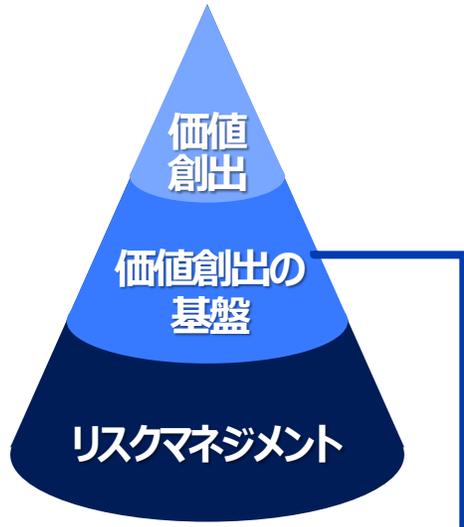


1. 2023年度 第1四半期実績

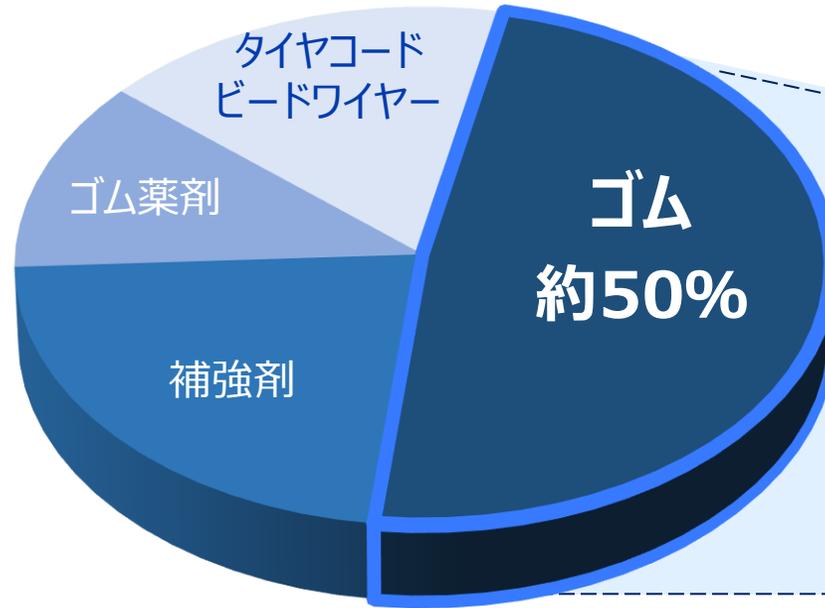
2. 2023年度 業績予想

**3. トピックス**

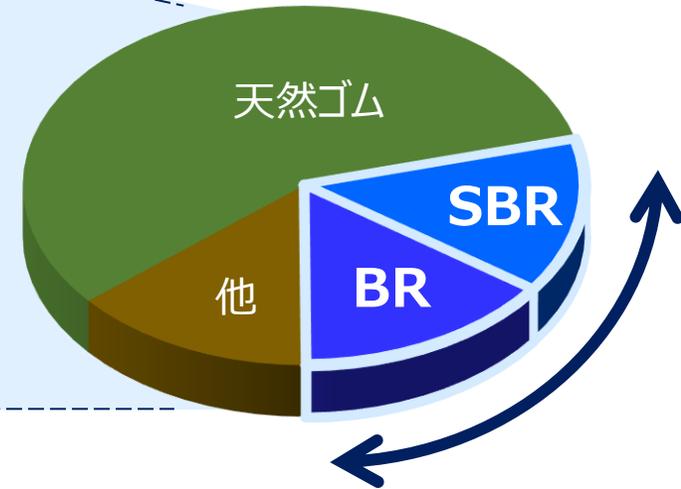
**マテリアリティの取り組み**



**【自動車用タイヤの原材料】**

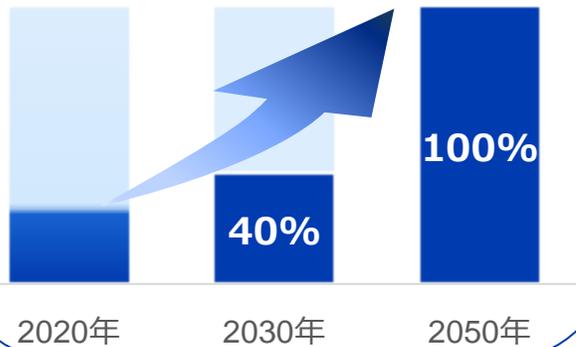


約30%を占めるブタジエン系ゴム



**次世代モビリティの技術革新を続ける**

製品開発における  
サステナブル素材使用比率 (目標)



**気候変動への対応急務  
サステナビリティを具現化する  
タイヤづくりが必要**

**「石油」以外の  
代替資源活用を模索**





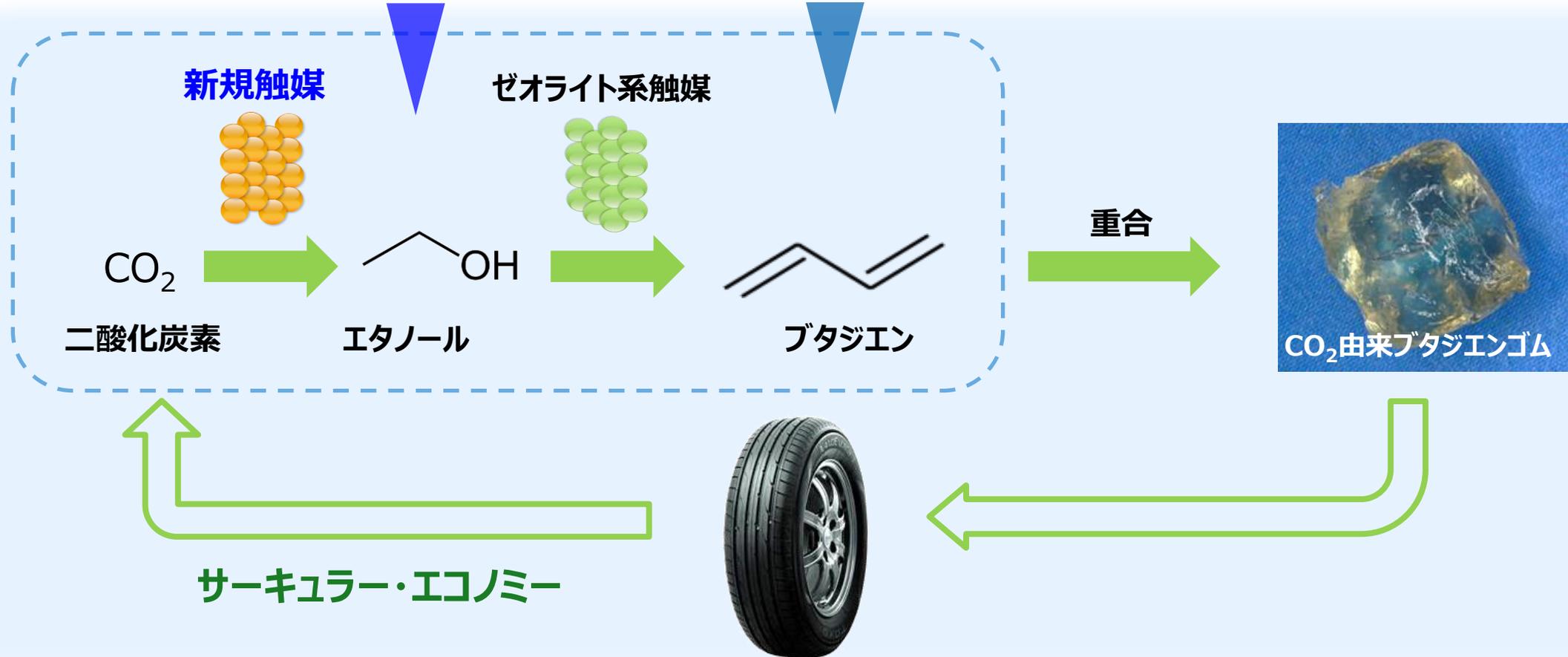
TOYO TIRES

新技術

世界最高レベルの変換率

①新規触媒による  
【CO<sub>2</sub>▶エタノール】から変換

②ゼオライト系触媒による  
【エタノール▶ブタジエン】変換



**PROXES Sport 2** (2023年2月発売)

グローバル・フラッグシップブランドのプレミアムスポーツタイヤ / プレミアムコンフォートタイヤ



- 左右非対称のトレッドパターン・コンパウンド（材料配合）を採用
- スポーツタイヤに求められる高次元でのハンドリング性能・ブレーキ性能を実現

**PROXES Comfort II<sub>s</sub>** (2023年3月発売)



- 新シリカ分散剤を採用、転がり抵抗・ウェット性能・耐摩耗性能を高次元で最適化
- ノイズの騒音エネルギーを22%低減※、高い静粛性を確保

※当社の従来商品比

**H30** (2023年2月発売)

ビジネスバン専用ドレスアップタイヤ



- シリカを増量したコンパウンドにより、転がり抵抗を低減、ウェット性能を向上
- ホワイトレターを用いた疾走感をイメージしたデザイン

**CELSIUS II** (2023年2月 米国で発売)

高いパフォーマンスを発揮するオールウェザータイヤ



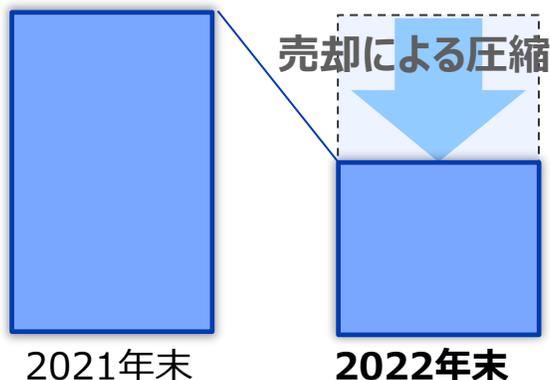
- 左右非対称のトレッドパターンで、ウェット・ドライ環境のほか、寒冷地にも適合※
- ドライビングの快適性・ウェット性能・雪上性能を確保

※寒冷地においても十分な性能を発揮することを認証された「Three-Peak Mountain Snowflake symbol」付与

## ■ 企業価値向上につながる成長分野への投資に資金を有効活用

投資有価証券

聖域を設けずに積極的に売却を検討



売却額  
211億円  
(2022年度)



7銘柄を売却  
(6銘柄は全額、1銘柄は一部売却)

- 高い生産性の維持・向上を前提にした供給ニーズへの対応



- 独自性を活かしたニーズに追従する商品開発



あらゆるステークホルダーからの  
価値評価向上による  
企業価値向上



再発防止策の進捗状況につきましては、四半期ごとに当社ホームページでの公表を継続して参ります。

IR情報 一覧 >

- 2023.04.11 更新情報 ▶ IRカレンダーを更新致しました。
- 2023.03.29 適時開示 ▶ 支配株主等に関する事項について (121KB) PDF
- 2023.03.29 適時開示 ▶ 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ (182KB) PDF

新型コロナウイルス感染拡大に関する対応 >      メールニュース配信登録 >

重要なお知らせ >      **免震ゴム/防振ゴム問題への対応について >**

## 免震ゴム／防振ゴム問題への対応について

このたびの免震ゴム問題、および防振ゴム問題により、多くの関係者の皆様にご迷惑をおかけしていますことを心より深くお詫び申し上げます。一日も早くご負担の解消、問題の解決を実現できるよう真摯に尽力してまいります。これから、一人ひとりが固い意志を持って「再発防止の徹底と継続」に取り組み、そして、「世の中に求められる企業」に生まれ変わるよう、グループをあげて再生を果たしてまいります。

新着情報

2023.02.14 ページ更新 ▶ 免震ゴム問題の「交換・改修に向けた進捗について」を更新しました

- 免震ゴム／防振ゴム問題への対応について
  - ▶ 信頼回復に向けて
  - ▶ 免震ゴム問題への対応について
  - ▶ 防振ゴム問題への対応について
  - ▶ 関連プレスリリース
  - ▶ **進捗報告**

## 進捗報告

### ○ 再発防止策の進捗について (2023年2月14日公表分)

- 品質保証改善並びにコンプライアンス啓発強化
  - 全事業にわたる全社的監査の継続 >
  - CI明石工場のコミュニケーション活動 >
  - 品質保証・管理体制の構築 >
  - 生産拠点における作業・監督体制/教育の継続 >
  - コンプライアンス強化徹底 >
- コーポレート基盤の継続的改善、充実
  - ガバナンスの強化徹底 >
  - 不正行為の早期探知、危機管理の実践 >
  - 社員教育の徹底と企業風土の抜本的改革 >

免震ゴム/防振ゴム問題への対応について → 進捗報告  
( <https://www.toyotires.co.jp/responsibility/progress/> )

**TOYO TIRES**



**OPEN COUNTRY** は今年で40周年

**40**

ANNIVERSARY  
**OPEN COUNTRY**  
ESTD. 1983

# ***TOYO TIRES***

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。